

ポブベックのやさしい投資信託

第3回 投資信託のメリット その2

前回は、株式投資信託へ投資するメリットを、過去のデータを紐解きながら解説しました。今回は、株式投資信託への投資のメリットを理屈で考えてみましょう。

(2) 投資信託のメリット

国内の株式に投資する投資信託

(C)理論的に考えよう

株式が右肩上がりだったのはバブル時代の幻想。もうそんなことはあり得ないと考えの方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、そんなことはないのです。

- (1) 企業は借金をして事業を行います。
経営者は、金利よりも高い収益を得られると考えるからこそ、金利を支払ってでも資金を集め、その資金を投入して事業を行うのです。すなわち、借金の金利よりも、事業の利益率は高いはずなのです。
- (2) 事業の利益率が借金の金利よりも高いのなら、株式の上昇率も金利よりも高いはず。株価は、その会社の業績を反映しているはず。もしそうならば、事業の利益率が、金利より高いのだから、株価の上昇率も、金利より有利なはずですね。
- (3) ただし、会社によっては事業に失敗するかもしれません。借金の金利よりも事業の利益率の方が高いと見込んで、事業をはじめても、結果的に金利よりも低い利益率になってしまうこともあるでしょう。しかしながら、株式の平均点をとれば、金利よりも高い収益をあげることができるはずなのです。
- (4) 株式の上昇の平均点を取るためには、分散投資が一番。つまり株式投資信託への投資が有効なのです。

国内の債券に投資する投資信託

(a)規模のメリット

日経新聞のWEBサイト、NIKKEI NET(<http://money.nikkei.co.jp/kinri/ns.as>

p?type=1)にアクセスして、現在の金利水準を調べてみましょう。マネー情報の金利表と書かれた部分をクリックすると、運用期間毎の金融商品別の金利が一覧になっています。下表を見ても分るように、定期等の預貯金金利に比べると、国債の利回りが随分高いことが分ると思います。

利回り比較

単位 %

5年		10年	
大口定期	0.150	大口定期	0.300
スーパー定期300	0.100	スーパー定期300	0.250
スーパー定期	0.100	スーパー定期	0.200
国債			
2006年3月20日償還	0.553	2011年3月21日償還	1.278

NIKKEI NET より

3月26日現在

ただし国債の利回りは3月29日現在

bloomberg.co.jpより

でも、国債を数万円とか数十万円で購入することは出来ません。たいていの債券は100万円単位なので、100万円以下では購入できないのです。また、150万円のお金があったとしても、100万円为国債を購入した後、残りの50万円は定期に預けたとすると、150万円全体で考えたときの利回りは、国債の利回りよりは小さくなります。

ところが、投資信託でしたら、投資家の資金をまとめて運用しますから、「国債を購入するだけの資金がない！」と頭を抱えることはありません。また資産の1割程度を解約用に現金として持っていたとしても、残りの9割は国債を購入して、預貯金金利よりも高い金利で運用することが出来るのです。

投資信託のメリットは、国債を購入することが出来るというだけではありません。債券には国債だけではなく、地方自治体が発行する地方債、企業が発行する事業債、等があります。そして、これらの債券は、国債に比べて金利が高いのです。しかしその発行額は国債に比べ非常に少ないため、個人投資家が購入しようとしても非常に難しいのではないのでしょうか。更に、そういった債券の場合、1,000万円単位とか1億円単位といった債券も多いのです。利回り

が良くても個人投資家にはなかなか手が届かないというのが本音でしょう。

投資信託の場合には、国債に比べ利回りが高い上記のような債券を購入することも可能です。つまり、債券に投資する投資信託の最大のメリットは「規模の利益」。投資家のお金を集め、まとめて運用することで、直接資本市場にアクセスし、高い利回りを享受することができるということなのです。